

風立ちぬ

風の街の中学校の窓から

庄内町立立川中学校
学校だより
2016. 3. 3

文責：校長 石崎幸宏

2年生 東京への修学旅行

本校の2年生は、2月23日から25日の2泊3日の日程で、東京方面に修学旅行に行ってきました。

次のようなスローガンと目標を掲げ、多くの期間と時間をかけ、準備や事前学習を進めてきました。

〈修学旅行スローガン〉

SUCCESS☆53 ～東京に挑む僕らの絆～

〈修学旅行目標〉

- 1 東京の良さや課題を体全体で感じ、ふるさとを考えよう
- 2 一人ひとりが考え、行動し、自立して成長しよう
- 3 53人全員が心から楽しみ、感動し合って
最高の思い出をつくろう

〈主な行程〉

- 1日目 往路→ 国会議事堂→ 官庁街オリエンテーリング→ 日比谷パレス (昼食)→ スカイツリー→ 隅田川ライン(水上バス)→ 劇団四季「ライオンキング」
- 2日目 班別自主研修→ 東京ディズニーランド
- 3日目 墨田区・キラキラ橋商店街(合唱とPR・販売活動)→ 浅草→ 帰路



直前にけが等により参加できない生徒や、旅行の途中で体調を崩して別行動をとらざるを得ない生徒が出たことはとても残念なことであり、申し訳ないという気持ちでいっぱいでした。しかしながら、修学旅行に行った生徒の誰もが、参加できない生徒の心といつも一緒という気持ちで取り組んだ修学旅行であり、安全に

留意して、感動・成就感のある実り多いものとなりました。

特に班別自主研修やキラキラ橋商店街でのPR・販売活動では、頭だけでなく体や心もフルに働かせて、東京という地や人々に関わることの素晴らしさを体感できたと感じています。

そして、ここ庄内町の良さや商品、南三陸町の商品をPR・販売したり、自分や自分達、庄内町の良さを再発見したりするきっかけにもつながったものと感じています。

修学旅行の取り組みでは、様々な方々からアドバイスを受けながらも、自ら判断し自ら行動し責任を持たなければならない場面、仲間と試行錯誤し協力しながら進めなければならない場面等が数多くあります。課題や困難を克服したり、約束事を決めそれを守ったり、やるべきことをきちんと行ったりするなどの経験は、生きる勇気や自信、共に生きることの大切さ、仲間との絆や他とつながることの大切さを実感し、修学旅行の成功と共に来年度の立川中を牽引していく最上級生へのステップとして、一回り大きく成長できたのではないかと思います。

〈商品をご購入頂いた皆様の返信葉書から〉 ↓(写真)PR・販売活動を終えて

- 男子も女子も純真そうな子供達ばかりで嬉しくなりました。土地柄なのか？親御さんや先生の教育がいいのですね！
- 若者達がキラキラ橋商店街を大きな声で地元の商品をアピールしている姿は良かったです。
- 山形からやって来た皆さんが明るくきびきびと働く姿に元気をもらいました。素晴らしいPR活動ですね！これからもどうぞ頑張って下さい。応援しています。
- とてもみなさん、きびきびしていて気分がとてもよかったです。みんなが力合わせてやっている姿は新鮮な気持ちになりました。
- この度は私達の街へ来てくださり、ありがとうございます！修学旅行は楽しめたでしょうか？明るく元気に販売を行っている姿を見て、とてもいやされました。めかぶ、とってもおいしかったです！プレゼントのクッキーも凄くおいしかったです。また墨田区へ遊びに来てください。私も庄内町へ遊びに行きたいです。
- まずは素晴らしい歌声に驚き、感動しました。そして皆さんの活発な動きに声、とても立派でした。これからも修学旅行の体験学習を続けて欲しいと思いました。ありがとうございます。
- ふるさとPR隊！皆さん元気良くされていて、頑張っている姿は中学生とは思えない程りっぱでした。商品は海草類をいただきました。試食したら、とてもおいしかったです！まだまだ大変なこともあるかと思いますが、ありのままの自分で(無理せず)頑張ってください。
- 私が11時頃に行ったらもう何もなかったです。もう少しあってもよかったのでは。たこたわしを買って帰りました。
- ご苦労様でした。購入しました食材はとても美味しくいただきました。あの短時間で完売！！一生懸命に工夫、努力する生徒さんたちの姿に拍手です。ふるさとを思う気持ちに感動しました。(追伸)手作りにあたたかさを感じました。

